

# ベルダデッキ 施工マニュアル



このたびは、ベルダデッキをご採用いただき、誠にありがとうございます。

## 施工の前に

- ベルダデッキを正しく施工していただくために、本施工マニュアルの内容をご確認ください。
- ベルダデッキの施工については、必ず本施工マニュアルに従ってください。
- デッキ材や構造材の安定性の維持には、十分な通風が必要です。  
デッキの下部の水はけや通風が十分である事をご確認ください。これらが十分でない場合は白カビ、黒カビ、品質低下の原因となる場合があります。
- ベルダデッキは、無節の平らな面を表側に使用するように製造されており、リブ付き面側に稀に天然木特有の小さな欠点を有する場合があります。  
リブ付き面を表側に使用するプロジェクトの場合には、必ず販売店あるいはKeyland社にその旨お伝えください。リブ付き面側の品質チェックの基準を変更してご対応させていただきます。階段や踊り場等に少量のリブ付き面を使用する場合には、施工を始める前に状態の良いリブ付き面の製品を全体の中から選んでご使用ください。
- 不良等の製品品質及びグレードに問題又は不安がある場合は、必ず施工を始める前に販売店にご連絡をお願い致します。

## 保管方法について

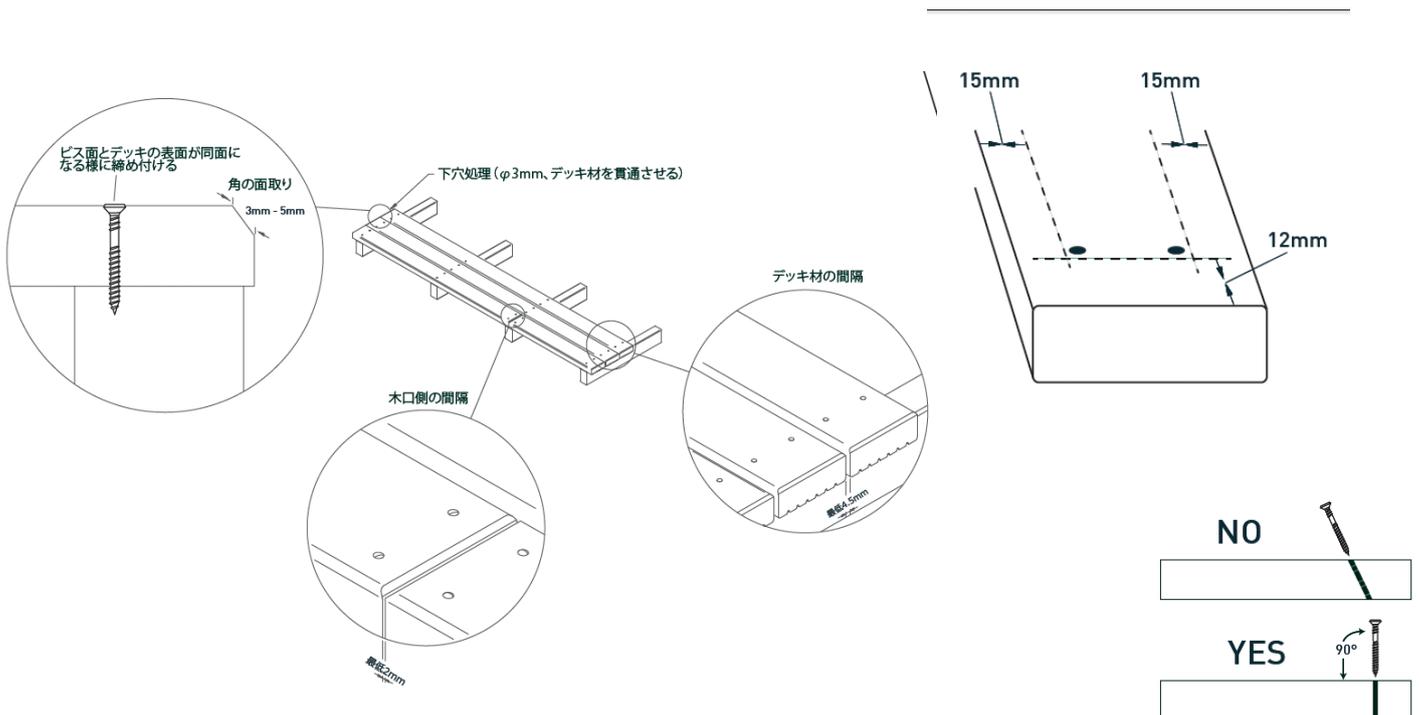
- ベルダデッキを保管する場合は、雨水などがかからないように、必ず乾いた状態で保管してください。
- 直射日光を避け、平らな場所で保管してください。
- 地面に直接置くことは避け、最低でも地面から100mm以上離して保管してください。  
その際、部分的な支えによる保管、平らでない場所での保管、立て掛けての保管等は反りや曲がりの原因となります。

## 必要な工具と商品

- コードレス電動ドリル
- ジグソー
- 丸鋸
- 軍手
- テープメジャー
- スパーサーツール
- 曲尺
- 保護めがね
- タッチアップ用刷毛又はウエス
- デッキ専用オイルベース浸透タイプステイン（例：キシラデコール等）

## 施工の際の注意点

- 国・県・市町村の建築基準に従って施工・作業を行ってください。
- 施工・作業の際は必ず安全防具・マスク等を装着してください。
- 履物の汚れが傷や損傷の原因となりますので、施工の際には注意して行ってください。
- デッキの表面に、石、工事作業で出た廃棄物等が残っていると傷や損傷の原因となりますので注意してください。
- 地面からは、最低でも200mmは空間を設けて施工するか、コンクリート面の上に施工してください。
- 22mm厚のデッキ材の推奨根太間隔は400mm～450mmです。
- デッキ材の間隔(目地)は必ず最低4.5mmを確保してください。
- 建物とは最低12mm離して設置してください。
- 人工乾燥材のベルダデッキは、雨や湿気等の水分を吸収し膨張が起こりますので、長さ方向の連結の際には、連結部を最低2mm離して施工してください。
- デッキ材小口から400mm以内にビスを留める場合には、割れを避ける為に必ず下穴(基準はφ3mm、デッキ材を貫通させる)を開けてください。
- ビスは最低でも側面から内側に15mm、木口から内側に12mmの場所に留めてください。
- 小口部分やその他切断部分は、端部割れを防ぐ為に上の図のように面取りを行ってください。
- 切断面及び面取部分には、水分の侵入を最大限防ぐ為に、必ずデッキ専用オイルバー浸透タイプステイン(例:キシラデコール等)を柔らかい毛の刷毛又はウエスにて塗布してください。



## 表面からビスを打つ場合の施工方法

- セルフタップ機能及びセルフカウンターシンク機能の付いた高品質デッキ用SUS316ステンレスビスをご使用ください。
- SUS316ステンレス製のセルフタップ機能及びセルフカウンターシンク機能の付いた高品質デッキ用ビスをご使用頂く場合は、デッキ材の木口に近い部分を除いては下穴加工は必要ありません。
- 図のようにビスの面とデッキの表面が同面になる様に締め付けてください。

ベルダデッキは人工乾燥材ですので多少膨張します。従って、ビスをデッキ材表面より深く締め付ける必要はありません。

- ビスは必ず真っ直ぐ締め付けてください。角度を付けて締め付けると、木材に過剰な圧力を与えることになり割れの原因となります。

# ベルダデッキ メンテナンスガイド

## メンテナンス

屋外にあるデッキは、紫外線や風雨により常に過酷な環境下に晒され、使用期間を通じて退色します。(退色はベルダ製品の性能あるいは安定性に影響はありません。)

特許取得済みの注入コーティング技術は、このような退色を抑止するように考えられていますが、完全には抑えることのできない自然の力ですので、定期的なメンテナンスによって補う必要があります。

また、デッキ材の表面は、雨や紫外線だけでなく、風で飛んでくる白カビの胞子、黒カビ、土、砂埃等の影響もあります。ベルダ製品は天然木製品であり、全ての天然木は弾力性・伸縮性や耐久性を維持する為に油分を含んでいます。私たちが肌をしなやかにする為にクリームを使うように、デッキ材もささくれ防止、素足に優しい表面を維持するには定期的な洗浄とデッキ専用オイルベース浸透タイプステインでのメンテナンスが必要となります。

## 日常的なメンテナンス

### 《 通常のお手入れ 》

- 定期的に枯れ葉、枝、土等は掃き掃除をしてください。
- 汚れは使用頻度に大きく影響されます。特に工業地帯、海岸地域、排気ガスの多い場所でのご使用の場合は、水洗いでの洗浄を定期的に行うことを推奨致します。

### 《 汚れがひどい場合 》

- 食べ物や飲み物、油汚れが付着した場合、または必要に応じて、十分に薄めた(約50倍)中性洗剤を使用して洗浄してください。
- 時間の経過とともにコケや藻がデッキ上に発生します。水とデッキブラシにて洗浄を行い、汚れが酷い場合には、アウトドアクリーナー(例:30セカンズ ワンステップ・スプレー・クリーナー等)にて洗浄してください。
- 汚れが付着した場合は、頑固な汚れになる前に清掃を行ってください。

### 《 カビ 》

- アウトドアクリーナー(例:30セカンズ ワンステップ・スプレー・クリーナー等)にて洗浄してください。
- その際、使用製品の使用説明書に従い十分注意してご使用してください。

### 《 傷 》

- まず表面の埃・ごみを取り除き、サンドペーパーで傷面を擦ります。必要に応じてデッキ専用オイルベース浸透タイプステイン(例:キシラデコール等)にてタッチアップを行ってください。

### 《 鉄サビ染み 》

- 鉄粉や鋼屑が飛来する環境下に設置する場合、木材に含まれるタンニンと夜露等の水分が反応し、鉄サビ染みが発生する場合があります。鉄サビ染みが発生した場合には、シュウ酸を散布して頂く事で除去できます。

また、下記のいくつかのレベルに分けたメンテナンスのオプションをご紹介します。

## 最高レベルのメンテナンス

従来の色と表面を新品に近い状態で維持する為のメンテナンスです。

- デッキを継続的に濡れる状況に晒したり、地面に接触させる事は避けてください。
- 定期的に、デッキの間や接触部分等に溜まる草木などの有機物は定期的に箒又はブロワーで取り除いてください。
- 6ヶ月に一度、水とデッキブラシにて洗浄を行い、汚れが酷い場合には、アウトドアクリーナー（例：30セカンズワンステップ・スプレー・クリーナー等）にて洗浄してください。
- 1年毎のデッキ専用オイルベース浸透タイプステイン（例：キシラデコール等）の再塗装を施してください。

## 普通レベルのメンテナンス

素足に優しい表面と従来の色を維持するためのメンテナンスです。

- デッキを継続的に濡れる状況に晒したり、地面に接触させる事は避けてください。
- 1年に一度、水とデッキブラシにて洗浄を行い、汚れが酷い場合には、アウトドアクリーナー（例：30セカンズワンステップ・スプレー・クリーナー等）にて洗浄してください。デッキの間や接触する部分に溜まる草木などの有機物は定期的に箒又はブロワーで取り除いてください。
- 2年毎のデッキ専用オイルベース浸透タイプステイン（例：キシラデコール等）の再塗装を施してください。

## 最低限のメンテナンス

デッキ表面の風化により退色が進み最終的にはグレー色になります。また、表面劣化や割れ、反り等が発生し、素足に優しい滑らかな表面を維持することはできなくなります。

- デッキ材を継続的に濡れる状況に晒したり、地面に接触させる事は避けてください。
- デッキ材の間や接触する部分に溜まる草木などの有機物は定期的に箒又はブロワーで取り除いてください。

### 注意：

木材の組織が壊れたり、またコーティング剤が剥がれる恐れがありますので、 高圧洗浄機のご使用と家庭用漂白剤のご使用は絶対に行わないでください。